



唐花文錦（正倉院複製）

企画展

ぎをん齋藤コレクション

みちしるべ

# 布の道標

—古裂こぎわれに宿る技と美—

令和3年

4月17日(土)ー6月20日(日)

5月25日(火)から一部展示替え

◆開館時間／10時～17時（入館は16時30分まで）

◆休館日／毎週月曜日

〔但し祝日の場合は翌平日〕

〔5月3日(月)は開館、6日(木)は休館〕

◆入館料／一般500円〔400円〕・学生300円〔高校生以上

※〔〕内は20名様以上の団体料金

主催〓石水博物館 特別協力〓ぎをん齋藤 協力〓細見美術館



阿弥陀種子刺繍幡裂



紋尽手更紗

岩に百花文慶長裂



🍷おかげさまで10周年 🎁

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

【TEL】 059-227-5677 【FAX】 059-213-5789

<http://www.sekisui-museum.or.jp/>





# 布の道標

古裂こぎれに宿る技と美



今に伝わる染織遺品は、その時々最高の素材や技術を駆使して生み出され、権威や富を象徴するものでもあります。本来の役目を終えた小さな断片=裂きれは「古裂」と呼ばれ、茶の湯の世界をはじめ、美術工芸品を守り引き立てるだけでなく、裂そのものが芸術品として永く大切に愛で伝えられてきました。

京呉服の「ぎをん齋藤」は天保14年(1843) 京都に創業、本年で178年を迎える老舗です。7代目当主の齋藤貞一郎氏は、染織コレクターとしても知られ、蒐集品に学んで精力的に古典の技法や意匠の復刻に取り組まれています。

本展は、ぎをん齋藤様の全面的なご協力により、そのコレクションから、中国唐代に遡る貴重な遺品や、民間に流出した最大級の正倉院裂として近年話題を呼んだ「唐花文錦」をはじめ、中世の綾・錦、近世の辻が花や慶長裂など、東洋染織史を概観できる染織芸術品の数々を紹介いたします。



1. 月下臥座文全欄
  2. 熊文蓋絵
  3. 蓮華文錦
  4. 鶏頭手全更紗
  5. 橘に蓬茶文慶長裂
  6. 花文辻が花染
  7. 柳輪に色紙形文織箔
  8. 藤に山道文唐織
  9. 桐に菊薄文唐織幕
  10. 御所車に幕模様小袖
- ※すべてぎをん齋藤蔵  
※展示替えあり

### 記念講演会

#### 古裂を観る 〈ぎをん齋藤コレクション〉の織りと染め

聴講無料

- ・講師：河上 繁樹 氏 (本展監修・関西学院大学文学部教授)
- ・日時：令和3年5月30日(日) 14時～15時30分(13時30分開場)
- ・会場：三重県立美術館講堂 (津市大谷町11)
- ・申込方法：石水博物館まで電話にて(電話：059-227-5677)
- ・定員：申込先着70名様

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、チラシの掲載内容に変更が生じる場合がございます。当館ホームページまたは電話にて、最新の情報をご確認ください。

※ご来館、ご来場の際は、感染症予防対策にご協力ください。

### ギャラリートーク 担当学芸員が展覧会をご案内します。

日時：4月30日(金)、5月15日(土)、6月13日(日) 各日14時より30分程度

※申し込みは不要。当日14時までに石水博物館受付前へお越しください。

※参加費は無料ですが、当日の入館料が必要です。

### 次回展覧会 新・石水博物館開館10周年記念特別展

重要文化財・佐藤家文書の世界  
— 動乱の時代を生きる —

会期：6月26日(土)～9月5日(日)

### 展示替休館

6月21日(月)～  
25日(金)

### 同時開催 (第2展示室) 所蔵品展《川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品》



### 交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス(久居駅方面行)にて約15分、「青谷口」下車徒歩約8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス(津駅方面行)にて約10分、「青谷口」下車徒歩約8分
- JR阿漕駅より徒歩約12分
- お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ。JRの踏切を越え、約200m 先岩田池手前の細い道(角に看板あり)を左折、約300m 先左側。(駐車場 15台)

## 公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789

<http://www.sekisui-museum.or.jp/>

## 第1展示室

### 企画展

### ぎをん齋藤コレクション

## 布の道標—古裂に宿る技と美—

令和3年4月17日（土）～6月20日（日）

### 出品目録

番号	作品名	布	時代・地域	時代	展示入替
<b>第一章 遥かなる道のり</b>					
1	連珠文錦	緯錦	ソグド	8世紀	
2	宝相華文錦	緯錦	唐	7世紀	
3	唐花文錦（正倉院裂）	緯錦	奈良	8世紀	
4	月下臥鹿文金襴	金襴	金	12～13世紀	
5	花兔文金襴	金襴	元	13～14世紀	
<b>第二章 神仏を荘厳する布</b>					
6	熊文蛮絵	麻／黒摺	鎌倉	13世紀	
7	蓮華文綾	綾	鎌倉～室町	13～15世紀	
8	蓮華文錦	緯錦	室町	14世紀	
9	阿弥陀種字刺繍幡裂	平絹／刺繍	室町	14～15世紀	
10	裂手鑑 太子間道	緋（かすり）	明	16世紀	
<b>第三章 桃山の活力</b>					
11	花文辻が花染	練貫／絞り染	室町～桃山	16世紀	
12	檜垣に藤菊文辻が花染	練貫／絞り染、墨描	桃山	16世紀	
13	団扇檜葉に立浪文辻が花染	練貫／絞り染、墨描	桃山	16世紀	前期
14	染分椿文辻が花染	練貫／絞り染	桃山	16世紀	後期
15	桐紋陣幕裂	節絹／絞り染	桃山	16世紀	後期
16	松桜の色紙形文練箔	練貫／刺繍、摺箔	桃山	16世紀	
17	柳鞠の色紙形文練箔	練貫／刺繍、摺箔	桃山	16世紀	前期
18	雪持ち柳に花輪違い文練箔	練貫／刺繍、摺箔	桃山	16世紀	後期
19	雪持ち柳に楓文刺繍	練貫／刺繍	桃山	16世紀	前期
20	菊桐草花文練箔	練貫／刺繍、摺箔、朱描、墨描	桃山	16世紀	
21	桐に扇面散らし文練箔	練貫／刺繍、摺箔、朱描、墨描	桃山	16世紀	

番号	作品名	布	時代・地域	時代	展示入替
22	枝垂れ桜と菊文唐織	唐織	桃山	16世紀	
23	松に梅文繍箔	練貫／刺繍、摺箔	桃山	16～17世紀	後期
24	山取りに扇面唐松と短冊文繍箔	練貫／刺繍、摺箔	桃山	16～17世紀	
25	桐に藤扇面文唐織	唐織	桃山	16世紀	
26	牡丹文唐織	唐織	桃山～江戸	16～17世紀	
27	桐に菊薄文唐織幕	唐織	桃山	16世紀	前期
<b>第四章 江戸の華</b>					
28	藤に山道文唐織	唐織	江戸	17世紀	
29	竹に秋草文唐織	唐織	江戸	18世紀	
30	虫籠に藤萩文唐織	唐織	江戸	18世紀	
31	櫛に桐鳳凰文半臂裂	練貫／刺繍	江戸	17世紀	前期
32	岩に百花文慶長裂	練貫／絞り染、刺繍	江戸	17世紀	
33	二十四孝文慶長裂	綸子／絞り染、刺繍	江戸	17世紀	
34	扇面散らしに花卉文慶長裂	綸子／絞り染、刺繍、 摺箔	江戸	17世紀	前期
35	橘に蓬萊文慶長裂	綸子／絞り染、刺繍、 摺箔	江戸	17世紀	
36	染分山道に桜と窠文慶長裂	綸子／絞り染、刺繍	江戸	17世紀	後期
37	梅花に扇文小袖裂	綸子／鹿子絞り、刺繍	江戸	17世紀	
38	「鳥」に梅文小袖裂	綸子／絞り染、刺繍	江戸	17世紀	後期
39	竹に桜水仙文友禅染	紗綾／友禅染	江戸	17世紀	後期
40	染分柴垣に菖文繍箔	縹子／刺繍、摺箔	江戸	17世紀	
41	観世水立涌に芦文繍箔	熨斗目／刺繍、摺箔	江戸	18世紀	前期
42	「壽」に宝尽くし文腰巻裂	練貫／刺繍	江戸	18～19世紀	
43	紋尽手更紗	木綿／更紗染	インド	17世紀	
44	鶏頭手金更紗	木綿／更紗染、印金	インド	17世紀	
45	花模様金更紗	木綿／更紗染	インド	18世紀	
46	いちご手更紗	木綿／更紗染	インド	17～18世紀	
47	橋姫模様小袖	縮緬／白上げ、刺繍、 摺匹田	江戸	19世紀	前期
48	御所車に幕模様小袖	縮緬／白上げ、刺繍	江戸	19世紀	後期
49	菊に熨斗蝶文小袖屏風	綸子	江戸	19世紀	後期
<b>ぎをん齋藤の世界</b>					
50	金銀摺箔日月屏風	齋藤貞一郎作 二曲一双	現代	令和2年	
51	古更紗切付名古屋帯	結城紬／古更紗	現代	21世紀	

※展示入れ替え 前期＝4月17日～5月23日 後期＝5月26日～6月20日

## 第2展示室

### 所蔵品展

# 川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品

令和3年4月17日（土）～6月20日（日）

### 出品目録

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
1	粉引茶碗 銘 雪の曙	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
2	刷毛目茶碗	川喜田半泥子	昭和12年・荷苗里の窯	
3	井戸手茶碗 銘 雨後夕陽	川喜田半泥子	昭和16年頃・千歳山窯	
4	井戸手茶碗 銘 寿山	川喜田半泥子	昭和16年頃・千歳山窯	
5	高麗手茶碗 銘 雅茶子	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
6	黒茶碗 銘 三保の夜	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
7	赤楽大茶碗 銘 閑く恋慕	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
8	鼠志野茶碗 銘 一トめぐり	川喜田半泥子	昭和22～25年頃・廣永窯	
9	志野茶碗 銘 不動	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
10	伊賀水指 銘 慾袋	川喜田半泥子	昭和15年・千歳山窯	
11	菖蒲図	川喜田半泥子筆・自賛	昭和30年代・紙本墨画淡彩	前期のみ
12	鄭濬氏像	川喜田半泥子筆	昭和12年・紙本墨画	藤田コ 後期のみ
13	常識茶会之図	川喜田半泥子筆	昭和10年代・紙本墨画	藤田コ
14	巴里人形図	川喜田半泥子筆	昭和4年・絹本着色	
15	男之助羽子板図	川喜田半泥子筆	昭和4年・絹本着色	
16	井戸手茶碗 銘 ひばり	川喜田半泥子	昭和16年・千歳山窯	
17	刷毛目茶碗 銘 一声	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
18	絵唐津手茶碗 銘 あひるの子	川喜田半泥子	昭和25年頃・廣永窯	寄託作品
19	灰釉茶碗 銘 由布	川喜田半泥子	昭和19年以前・千歳山窯	
20	灰釉茶碗 銘 ぼたもち	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	寄託作品
21	呼継茶碗 銘 ねこなんちゅ	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
22	片身替茶碗 銘 布袋和尚	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
23	灰釉茶碗 銘 これはしたり	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	寄託作品
24	千歳山と半泥子図	川喜田半泥子・自賛	昭和34年・紙本墨画	藤田コ
25	石楠花図	川喜田半泥子・自賛	昭和10年代・紙本墨画淡彩	

企画展関連表示

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
26	木綿縞帳		江戸～明治時代	
27	『裂手鑑』		1帖・奈良～江戸時代	
28	有職裂貼交小屏風	正斎作	1隻・江戸時代・紙本裂貼交	
29	『古今名物類聚』	尚古老人(松平不昧)著	2巻2冊・寛政3年刊・紙本木版	
30	『求古図譜 織物之部』	高島千春著	1帖・天保11年刊・紙本木版	
31	月に帰雁図	伝 辺文進筆	明時代・絹本着色	
32	『更紗図譜』	稲葉通龍著	1冊・天明5年刊・紙本木版	

茶席

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
33	書 愚庵	川喜田半泥子筆	昭和26年・紙本墨書	
34	竹一重切花入 銘 移香	川喜田半泥子	昭和28年・竹	
35	伊賀水指	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	

藤田コ = 平成23年寄贈藤田等風コレクション